

事務局説明資料（参考資料）

（前回会議での委員からのご質問等に対するご回答）

<目 次>

1. (事務局説明資料 P.7) ■ 手数料等の対価について説明している例……………P.1
2. (事務局説明資料 P.7) ■ 投資信託の手数料を一覧で比較開示している例……………P.2
3. (事務局説明資料 P.9) ■ パッケージ化する場合・しない場合を顧客が比較可能な説明資料例……………P.3
4. (事務局説明資料 P.9) ■ 類似商品の比較情報を一覧化した説明資料例……………P.4
5. (事務局説明資料 P.13) (事例)「ご提案書」……………P.5
6. (事務局説明資料 P.14) (事例)「総合商品ラインアップのご案内」……………P.6
7. (事務局説明資料 P.14) (事例)「未来年表」……………P.7
8. (事務局説明資料 P.14) (事例) 確認項目 (抜粋)「ご家族の構成」……………P.8

投資信託・一時払保険に係るご提供サービスとお客さまにご負担いただく手数料について

は、投資信託・一時払保険をご購入および保有していただく際に「ご提供するサービス」の対価として、各種手数料をご負担いただいております。
投資信託については、一般に販売会社として「購入時手数料」および「運用管理費用」をご負担いただいております。

購入時手数料

支払先 **販売会社**

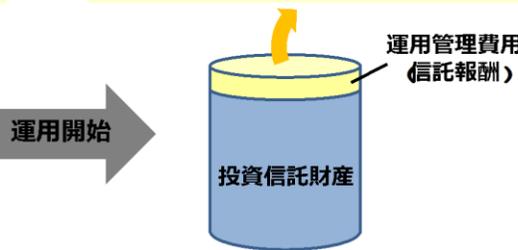
投資信託を購入される際に販売会社に対して、一度にご負担いただくものです。



運用管理費用 (信託報酬)

支払先 **販売会社** **委託会社 (運用会社)** **受託会社**

あらかじめ定められた報酬率で日々計算され、投資信託財産から支払われます。また定められた割合で販売会社・委託会社・受託会社に配分されます。



ご投資いただいた資金

投資信託

取引段階	手数料		ご提供するサービス例
	投資信託	一時払保険	
ご購入時	購入時手数料	代理店手数料 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お客さまがニーズに合った商品を選択していただけるように、またお客さまが資産運用に際して適切なご判断ができるように、マーケット等に関する情報の提供を行います。 ◆ お客さまのご年齢・投資に関するご経験・お持ちの金融資産・お取引の目的等を確認し、お客さまの視点に立ち、受入可能なリスク水準等を総合的に勘案した上で、ニーズに合った適切な商品の提案を行うよう努めます。 ◆ お客さまの投資に係るご経験等を踏まえ、商品性・リスク・コストなどの重要事項をお客さまにご理解いただけるよう分かり易く説明を行います。 ◆ 商品販売（契約）に関する事務手続きを行います。
保有時	運用管理費用		<ul style="list-style-type: none"> ◆ お客さまを取り巻く環境の変化や運用状況等を踏まえ、継続的にお客さまの適切な投資判断に役立つ情報提供を行うように努めます。 ◆ <投資信託の場合> 運用報告書など各種書類のご送付、分配金・償還金のお支払い、解約手続等を行います。

※1 販売会社としてお客さまにご負担いただく手数料を指しており、投資信託に関してお客さまにご負担いただく手数料は上記に限られません。手数料・費用の詳細は、投資信託説明書（交付目録見書）や契約締結前交付書面（目録見書補充書面含む）にてご確認ください。

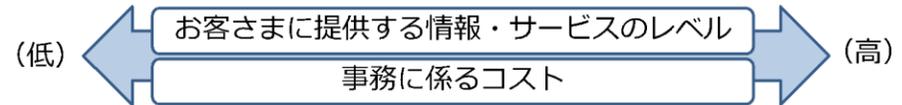
※2 一時払保険においては、保険の手数料は保険会社から販売代理店に支払われるものであり、代理店手数料の多寡がお客さまのご負担額に直接影響を与えるものではありません。

※3 また、上記は、「ご提供するサービス例」として掲載するものですので、全てのお客さまに当てはまるものとは限りません。

投資信託に係る手数料水準の考え方

1. 商品の取扱窓口による差異（主に購入時手数料）

商品の取扱窓口（店頭やインターネット）により、「お客さまに提供する情報・サービスのレベル」や「事務に係るコスト」が異なります。一般的に、インターネット専用の商品については、上記の観点から、手数料水準を相対的に低く設定しています。



インターネット専用商品

店頭取扱商品^{※3}

商品取扱窓口

- ◆ 店頭取扱商品においては、対面でお客さまの資産・負債状況等のヒアリングをしっかりと行い、各種分析を実施した上で、お客さまの投資に係るご経験等を踏まえ、お客さまに適した分かり易い情報の提供を実施するよう努めています。
- ◆ インターネット専用商品においては、対面での商品説明・情報提供等を原則として行わず、また営業担当者が行う商品販売（契約）に係るお手続きの一部をお客さま自身で行っていただくため、事務に係るコストが低くなることから、一般的に、店頭取扱商品に比べて相対的に手数料水準を低く設定しています。

※3 店頭取扱商品については、対面で提供することを前提としています。同商品のインターネットでのご購入は、お客さまの利便性向上を目的とする付帯サービスとしてご提供しているため、手数料は同一となります。

2. 投資対象等による差異（購入時手数料および運用管理費用）

投資対象等により商品のリスクは異なり、お客さまへのご説明のための情報が異なります。一般的に、ご説明する「情報量」が多いほど、営業担当者のお客さまへの説明に要するコストが増えることから、手数料水準を相対的に高く設定しています。



地域	国内	海外
資産	債券	株式
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 一般的に、高リスク商品は、低リスク商品に比べて、投資対象市場の動向や投資対象地域の経済・政治情勢等、より多くの情報が必要になる傾向があります。は、これらの情報を収集し、営業担当者がお客さまにこれらの内容を分かり易くご説明するために相応のコストをかけています。 	

* 上記の「商品の取扱窓口による差異」や「投資対象等による差異」は、一般的な例を示したもので、手数料の水準を決める要素はこれらに限るものではありません。そのため、上記の考え方に必ずしも当てはまらない場合もございます。

【当資料に関するご留意事項】

- * 保険商品は預金ではございません。預金保険制度に規定する保険金支払いの対象となりません。お客さまの投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。
- * 投資信託は預金や保険契約ではなく、預金保険制度、保険契約者保護制度の対象ではありません。また、登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の対象となりません。お客さまの投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。

主な投資対象	主な投資地域	ファンド名 (投資信託会社)	主な投資対象・特徴	*1 分配方針	購入価額	*2 購入時手数料 (税込)	運用管理 費用 (年率・税込)	信託財産 留保額	*3 スイッチング のお取扱い	換金代金 の入金 (お申込日 から起算)	主なリスク	*4 リスク ランク			*6 償還集換 優遇制度	
株式	国内		日経平均株価の動きに連動する 投資成果を目指す	年1回	お申込み日の 当日の 基準価額	1億円未満 1億円以上	1.08% 0.54%	0.5616%	ありません	○	4営業日目	株式 信用 その他	4	○	○	○
			国内の成長株に投資	年1回	お申込み日の 当日の 基準価額	1千万円未満 1千万円以上	3.24% 2.70%	1.6524%	ありません	○	5営業日目	株式 信用 その他	4	○	○	○
			国内の割安株に投資	毎月	お申込み日の 当日の 基準価額	1億円未満 1億円以上	3.24% 2.16%	1.242%	0.3%	○	5営業日目	株式 信用 その他	4	○	○	○
			国内の成長が期待される株式に投資	6ヵ月	お申込み日の 当日の 基準価額	1億円未満 1億円以上	3.24% 2.16%	1.5552%	ありません	○	5営業日目	株式 信用 その他	4	○	○	-
	海外		米国の好配当株に投資	毎月 年1回	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	1億円未満 1億円以上5億円未満 5億円以上	3.24% 2.16% 1.08%	1.89%	0.3%	○	5営業日目	株式 為替 信用 その他	4	○	○	-
			世界の高配当利回りの公益株に投資	毎月	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	1億円未満 1億円以上5億円未満 5億円以上	3.24% 2.16% 1.08%	最大年率 1.788% 程度	ありません	○	7営業日目	株式 為替 信用 その他	4	○	○	○
			エネルギー関連事業等に投資するMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) に投資	毎月	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	1億円未満 1億円以上5億円未満 5億円以上	3.78% 2.70% 1.35%	1.7764% 程度	0.3%	○	7営業日目	MLP 為替 信用 その他	4	○	○	-
			日本を含む世界のロボット関連企業の 株式に投資	6ヵ月	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	5千万円未満 5千万円以上1億円未満 1億円以上3億円未満 3億円以上	3.24% 2.16% 1.08% 0.54%	1.782% 程度	ありません	○	6営業日目	株式 為替 信用 その他	5	○	○	-
			日本を含む世界の株式の中から、 主にAI(人工知能)関連企業の 株式に投資	年1回	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	5千万円未満 5千万円以上1億円未満 1億円以上3億円未満 3億円以上	3.24% 2.16% 1.08% 0.54%	1.869% 程度	ありません	○	6営業日目	株式 為替 信用 その他	5	○	○	-
			成長性の高いメディカル・サイエンス 企業の株式に投資	6ヵ月	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	5千万円未満 5千万円以上1億円未満 1億円以上3億円未満 3億円以上	3.24% 2.16% 1.08% 0.54%	1.944%	ありません	○	6営業日目	株式 為替 信用 その他	5	○	○	-
			新興国の高配当利回り株式に投資	毎月	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	1億円未満 1億円以上5億円未満 5億円以上	3.24% 2.16% 1.08%	最大年率 1.932% 程度	0.3%	○	7営業日目	株式 為替 信用 その他	5	○	○	-
			先進国企業が出資する新興国企業の 株式に投資	年1回	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	1億円未満 1億円以上5億円未満 5億円以上	3.24% 2.16% 1.08%	1.9008%	ありません	○	8営業日目	株式 為替 信用 その他	5	○	○	-
			自動運転技術の進化・普及により、 業績拡大が期待される世界の企業の 株式に投資	年1回	お申込み日の 翌営業日の 基準価額	5千万円未満 5千万円以上1億円未満 1億円以上3億円未満 3億円以上	3.24% 2.16% 1.08% 0.54%	1.8804% 程度	ありません	○	6営業日目	株式 為替 信用 その他	5	○	○	-



パッケージ型保険商品※には、 複数の機能が付加されています

※「定額部分」+「変額部分」で運用する2階建てのしくみを採用した一時払保険商品

1つの商品に「運用の機能」「相続の機能」などの、様々な機能が付いていることが特長です。

■(参考)一般的なパッケージ型保険商品に付加されている機能の例

運用の機能	相続の機能	その他の機能
<ul style="list-style-type: none"> 運用成果を確保する機能 (ターゲット機能) 実際の投資金額より大きな金額で運用できるしくみの採用 (レバレッジ機能) 運用期間満了時*の最低保証 <p><small>※年金の場合は運用期間満了時、終身の場合は変額部分での運用満了時</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> 死亡保障の確保 お金に名前をつけてのこす機能 (死亡保険金受取人の指定) 	<ul style="list-style-type: none"> 税制メリットの活用 生命保険金の非課税枠の活用、(相続税法第12条)「生命保険料控除」の活用 受取方法の選択 一括受取 または 年金受取



生命保険の活用以外にも、 個別に商品を組合せて 備える方法もあります

それぞれの機能を、個別の金融商品で準備できる場合もあります。組合せのケースによっては費用が安くなる場合もあります。ただし生命保険特有の商品性もありますので、すべての機能・効果を代替できるわけではありません。

■(参考)個別に商品を組合せる場合の例

運用の機能	相続の機能	その他の機能
<ul style="list-style-type: none"> バランス型投資信託 外国債券 日本国債 生命保険* <p><small>※特に、貯蓄機能のある変額保険、定額保険など</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> 生命保険 遺言信託 	<ul style="list-style-type: none"> 税制メリットの活用 NISAの非課税投資枠の活用 投資信託・株式など 税制メリットの活用 生命保険金の非課税枠の活用(相続税法第12条)、「生命保険料控除」の活用 生命保険 受取方法の選択 一括受取 または 年金受取 生命保険

パッケージ型保険商品に代わり、個別に商品を組合せる場合の一例

商品例		パッケージ型保険商品(一時払保険)
		(イメージ)一時払年金保険の場合
ご意向		<ul style="list-style-type: none"> 運用の機能: 変額部分 定額部分 死亡保障 すべて1商品でまとめて備えたい
運用の機能	運用のしくみ	変額部分: 国内外の株式、債券などの資産へ分散投資しながら、実際の投資金額より大きな金額で運用(レバレッジ取引) 定額部分: 契約時に設定される積立利率にもとづき、指定通貨建てで固定利率で運用
	最低保証	運用期間満了時*に一時払保険料の100%を指定通貨建てで最低保証 <small>※年金の場合は運用期間満了時、終身の場合は変額部分での運用満了時</small>
相続の機能	主な機能	設定した目標値までふえたら、運用成果を確保(ターゲット機能)
	死亡保障	あり(死亡保険金受取人の指定が可能)
その他の機能	主な税制メリット	「生命保険金の非課税枠」の対象(相続税法第12条)、「生命保険料控除」の対象
	運用成果の受取	一括受取 または 年金受取
主な費用	購入時・解約時	解約控除 等
	運用期間中	保険契約関係費、運用管理費用(信託報酬等)
	年金受取期間中	保険契約関係費

個別に商品を組合せる場合		
<ul style="list-style-type: none"> バランス型投資信託 	<ul style="list-style-type: none"> 外国債券、日本国債 	<ul style="list-style-type: none"> 生命保険(定期保険)
運用の機能: 変額部分 株式や債券などで運用したい	運用の機能: 定額部分 安定的に運用したい	死亡保障 死亡保障に備えたい
国内外の株式・債券などの資産へ分散投資	債券へ投資し固定利率で運用 償還日に額面金額が受け取れるが、発行体の信用状況により元本割れリスクあり	あり(死亡保険金受取人の指定が可能)
NISA利用時は「NISA非課税投資枠」対象 年金受取は不可	保有期間中は定期的に利子が受け取れる 満期まで保有の償還金は一括受取	「生命保険金の非課税枠」の対象(相続税法第12条)「生命保険料控除」の対象
購入時手数料、信託財産留保額等 運用管理費用(信託報酬)	中途換金調整額(中途換金時のみ) 等	(契約期間中の保険料負担のみ)

中長期の視点に立ち、資産を組合せ分散投資を行いながら、安定的に資産を形成するための方法をご紹介します。

自分で組合せて運用 ～投資信託～

<イメージ図>

お客さま

投資信託を購入

国内株式ファンド 国内債券ファンド 海外株式ファンド 海外債券ファンド

さまざまな投資信託を組合せ、ご自身で資産配分を決定し、売買のタイミングを判断しながらバランス運用を行います。

特徴 ご自身で複数の投資信託を組合せ(パッケージ)。

組合せを選んで運用 ～バランス型投資信託～

<イメージ図>

お客さま

バランス型の投資信託を購入

国内株式 海外株式
国内債券 海外債券

お客さまのご資産は投資信託の販売会社を通じて運用会社が株式や債券等での運用や、資産配分の見直しをします。

特徴 中長期分散投資のニーズにこたえるために予めプロ(運用会社)が複数資産を組合せ(パッケージ)した投資信託。

備えながら運用 ～変額保険～

<イメージ図>

お客さま

保険に加入

国内株式 海外株式
国内債券 海外債券

死亡保障
満期時の最低保証
*商品により異なります

お預かりした保険料は保険会社の特別勘定において、株式や債券等に投資する投資信託で運用します。運用成果が将来の年金額などに反映されます。

特徴 保険機能と運用を組合せ(パッケージ)。中長期投資のニーズにこたえるため予めプロ(保険会社指定の運用会社)が複数の資産を組合せ運用。

プロにお任せして運用 ～ファンドラップ～

<イメージ図>

お客さま

「投資一任契約」を締結

お客さまごとの運用報告

投資一任業務を営む金融機関(投資一任会社)

投資信託の購入

国内株式ファンド 国内債券ファンド 海外株式ファンド 海外債券ファンド

お客さまのご意向に合わせた最適な資産配分比率を決定

投資一任契約に基づいた投資先ファンドの選定や、資産配分比率の決定、見直し等を投資一任会社が行います。

特徴 中長期分散投資のために複数の投資信託を組合せた(パッケージ)運用をご自身に代わって、プロ(投資一任会社)にお任せ。

資産の組合せ	自分で判断		任せたい		資産の組合せ	
	資産配分の決定	配分の決定は、お客さま自身	資産配分の決定	配分の決定は、運用会社		資産配分の決定
お客さまのご選択・ご判断ポイント	ご自身で投資信託の情報を収集し、購入可能な投資信託から組合せを決定し、組入れ、入替えのタイミングを判断。	ご自身でバランス型投資信託の情報を収集し、運用をお任せする/バランス型投資信託を選択。	保険商品の運用内容についての情報を収集し、お任せする保険商品を選択。	配分の決定は、保険会社の指定する運用会社	お客さまのご意向に基づいた最適な資産配分比率の決定と資産の入替を投資一任会社にお任せ。対象資産や運用条件などをオプションとして選択いただけます。	お客さまのご選択・ご判断ポイント
運用状況の把握方法	個別投資信託の運用状況をご自身でまとめて管理し、把握。	個別投資信託の運用状況から把握。	保険会社からの運用状況により把握。	運用状況により把握。	投資一任会社がお客さまごとに組合せられた複数の投資信託の運用状況を定期的にまとめた運用報告書により把握。	運用状況の把握方法
投資信託に係る手数料・販売手数料・信託報酬・信託財産留保額など	ご自身で組合せた複数の投資信託にかかるコストの合計額。同種の投資信託にかかるコストを比較しご自身で低コストな投資信託を選択可能。	ご自身で選択したバランス型投資信託にかかるコスト。同種の投資信託を比較しご自身で低コストな投資信託を選択可能。但し、バランス型の投資信託は複数の投資対象資産を組合せるため単一資産を投資対象とする投資信託よりも一般には費用が高くなる場合があります。	ご自身で選択いただいた保険商品が投資対象としている複数の投資信託にかかるコストの合計額。	ご自身で選択いただいた保険商品が投資対象としている複数の投資信託にかかるコストの合計額。	投資一任会社により組合せられた複数の投資信託にかかるコストの合計額。	投資信託に係る手数料・販売手数料・信託報酬・信託財産留保額など
その他想定される費用	なし	なし	保険機能に係る費用	保険機能に係る費用	投資顧問報酬(運用にかかる決定や運用報告等の投資一任契約に関する費用)	その他想定される費用

例えば
スーツづくりに
置き換えると...



ハンドメイド
手間はかかりますが生地(投資信託)の選択から、デザイン(配分)まで自分流で自由に作れます。



レディ・メイド
不特定多数のお客さまのご意向を想定し、予めプロがご用意。そこからご自身に合ったものを選びます。



パターンオーダー
お客さまのご意向に合わせて最適なパターンをプロがご提供。さらにお客さまのセンス(意向)で自由にパーツ(オプション)を選びます。

※上記はイメージであり、資産運用の一例として1つの見方をご紹介しているものです。将来の運用成果を示唆・保証するものではなく、また、投資対象資産は、上記に限定するものではありません。

分散投資はご自身で個別の商品を組合せて行うことができます。その他、バランス型の投資信託、変額保険やファンドラップなど、予め組合せられた(パッケージされた)商品を利用する方法もあります。パッケージされた商品を選択する場合にはご自身の意向や方針に合わせ、ご選択いただきますようお願いいたします。

「お金の色分け」シート

将来のために、お金の計画を立てませんか

Step 1 まず、ご自身の大切な資産について整理してみませんか？

お持ちの金融資産をチェックしながら、全体の金融資産を把握してみましょう

すべての金融機関の預貯金を把握されていますか？

〈お持ちの資産にチェック〉

- 円預金 社内預金
- 外貨預金



時価はどれくらいかご存じですか？

〈お持ちの資産にチェック〉

- 投資信託 自株
- 株式 債券

保険の契約内容をご存じですか？

〈ご契約中の保険にチェック〉

- 死亡保険 医療・介護保険 子ども保険 個人年金保険

Step 2 どのような目的で貯蓄をしていますか？

将来のための準備について、チェックしてみましょう

1 老後のためのお金

「老後のためのお金」は計画的に準備されていますか？

- 公的年金等の収入以外で、年間どれ位、用意する必要があるかわからない

3 万一のために備えるお金

どのような場合に備えておきたいかをお聞かせいただけますか？

- 病気・ケガ 介護 その他

2 大切な方へ遺すお金

大切な方へ遺すことをお考えですか、それはどなたですか？

- 配偶者さま お子さま お孫さま
- その他

4 使いみちの決まっていないお金

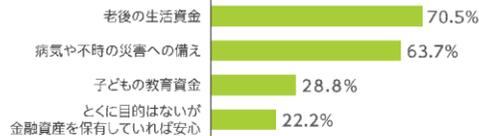
①～③以外でお考えのことはございますか？

- 使う時期、使いみちのイメージがある
- インフレからお金を守ることを考えたことがある

参考

◎貯蓄の目的

老後や万一に備えて貯蓄する方が多いようです



出所:金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査[二人以上世帯調査]」平成28年調査結果、20%以上の回答のみ掲載

Step 3 今後の使いみちによって、お金を「色分け」してみませんか？



「お金の色分け」シート

総金融資産

_____万円

当面の生活費として確保しておくお金

いざというときのために、ある程度の期間の生活費を確保しておく「予備の生活費」

_____万円

当面使う予定のないお金

今後の人生計画とあわせて「準備する資金」

_____万円

当面の生活費として確保しておくお金

当面使う予定のないお金

使いみちの決まっているお金

使いみちの決まっているお金

マイホームの購入やお子さまの教育費等、目的にあわせて「確保しておく資金」

_____万円

老後のためのお金

_____万円

大切な方へ遺すお金

_____万円

万一のために備えるお金

_____万円

使いみちの決まっていないお金

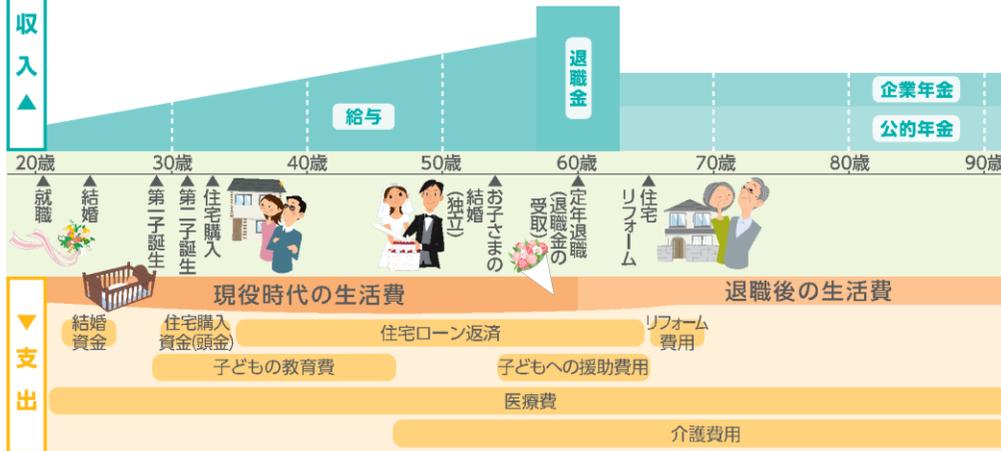
_____万円



未来年表

これから必要なお金を準備するために、未来年表を作ってみましょう。

生涯収支のイメージ



記入内容項目例

定期的な収入と支出	<input type="checkbox"/> 給与	<input type="checkbox"/> 公的年金
	<input type="checkbox"/> 企業年金	<input type="checkbox"/> 個人年金
	<input type="checkbox"/> 毎月の生活費	
特別な収入	<input type="checkbox"/> 退職金	
特別な支出	<input type="checkbox"/> 教育費	<input type="checkbox"/> リフォーム
	<input type="checkbox"/> 趣味・旅行	<input type="checkbox"/> 車購入
	<input type="checkbox"/> 子どもへの援助	<input type="checkbox"/> 介護費用
	<input type="checkbox"/> 葬儀費用	<input type="checkbox"/> 相続(納税資金)
保障	<input type="checkbox"/> 医療保障	<input type="checkbox"/> 介護保障
	<input type="checkbox"/> 死亡保障	
金融資産	<input type="checkbox"/> 預金	<input type="checkbox"/> 運用商品
お借り入れ	<input type="checkbox"/> 住宅ローン	<input type="checkbox"/> 其他ローン

現在の金融資産とお借り入れ状況

○預金 _____ 万円

○運用商品 _____ 万円

○お借り入れ _____ 万円

		現在	年後	年後	年後	年後	年後
ご本人・ご家族のご年齢とライフイベント	ご本人さま						
定期的な収入と支出の目安							
特別な収入と支出の目安	収入						
	支出						
万一の場合の保障等の準備	医療保障						
	介護保障						
	死亡保障						

MEMO

ご家族の構成

弊社は、ご家族のための銀行を目指しており、ご家族でご利用頂ける商品・サービスをご用意しております。差し支えない範囲で、お客さまのご家族構成等をご記入ください。

 お父さま ¹ □/お母さま ² □ 備考 ³	 お客さま ご本人	配偶者さま ⁴ □ ご職業 ⁵ _____ 備考 ⁶	その他 兄弟姉妹 ³¹ _____ 名 甥姪 ³² _____ 名 左記以外の子 ³³ _____ 名 備考 ³⁴
 お子さま ⁷ □ 続柄 ⁸ _____ 居住地 ⁹ _____ ご職業 ¹⁰ _____ 備考 ¹¹	 お子さま ¹³ □ 続柄 ¹⁴ _____ 居住地 ¹⁵ _____ ご職業 ¹⁶ _____ 備考 ¹⁷	 お子さま ¹⁹ □ 続柄 ²⁰ _____ 居住地 ²¹ _____ ご職業 ²² _____ 備考 ²³	
お孫さま  人数 ¹²	お孫さま  人数 ¹⁸	お孫さま  人数 ²⁴	お孫さま  人数 ³⁰